



事業コンセプト／計画概要

都会の喧騒の中に安らぎとくつろぎの空間を創造する都心のオアシス

東急百貨店本店の跡地であり、渋谷のにぎわい、松濤の静謐な住宅地、独自のカルチャーが息づく奥渋谷エリアの結節点に、「Tokyo's Urban Retreat」をキーコンセプトに掲げた複合施設が誕生します。

渋谷に根差した複合施設開発やリテール、ホスピタリティ、カルチャーのノウハウを持つ東急グループと、国際的な複合施設開発やワールドクラスブランドのキュレーションの実績を持つL Catterton Real Estateとのパートナーシップにより推進する本計画は、地上34階地下4階の複合施設で、洗練されたライフスタイルを提案するリテール、ワールドクラスのラグジュアリーホテル、都市型居住を実現する賃貸レジデンス、隣接するBunkamuraより拡大移転する「Bunkamura ザ・ミュージアム」を有します。ミュージアムの移転・開業をきっかけとして、Bunkamuraとのさらなる融合を推進し、新たな大型文化複合拠点として誕生します。



外観イメージ (Image by Mir, Copyright Snøhetta and NIKKEN SEKKEI LTD)

◆ デザインアーキテクトに「Snøhetta」を起用

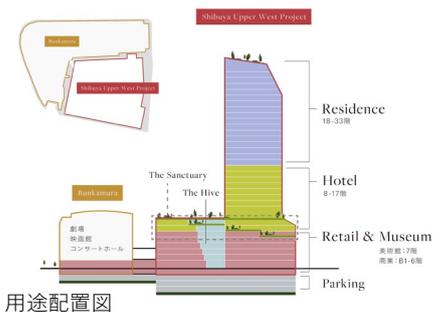
- その土地の持つ背景やランドスケープに合わせたサステナブルでコンセプトualな空間づくりを得意とし、国際的に高い評価を得ているノルウェーの建築・デザイン事務所「Snøhetta (スノヘッタ)」の起用が決定

◆ 「Tokyo's Urban Retreat」を体現する空間を創造

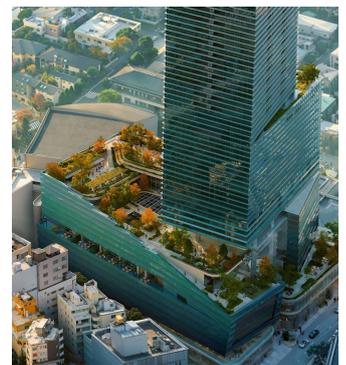
- 渋谷の喧騒から離れ、自らのエネルギーが落ち着きを取り戻し、創造的な発見が出来る都心のオアシスとして、身体的、精神的、知的にも満たされ、包括的なウェルビーイングを体験できる空間を創造
- 中核をなす2つの空間として、低層階の施設の中心にあり、光が降り注ぐ活気と躍動感に満ちたアトリウム「The Hive (ザ・ハイブ)」と都会の喧騒から離れ、施設を訪れる人が癒やしを感じる緑豊かな空間「The Sanctuary (ザ・サンクチュアリ)」を整備

◆ コンテンポラリーラグジュアリーホテル「The House Collective」が日本初進出

- ホテルは、「Swire Hotels (スワイヤー・ホテルズ)」が展開し、クリエイターやエグゼクティブに幅広いファン層を持つコンテンポラリーラグジュアリーブランド「The House Collective (ザ・ハウス・コレクティブ)」が日本初進出



用途配置図



「The Sanctuary」イメージ (Image by Mir, Copyright Snøhetta and NIKKEN SEKKEI LTD)

建物の概要

事業主体	東急株式会社、L Catterton Real Estate、株式会社東急百貨店	階高	地上34階、地下4階
所在地	東京都渋谷区道玄坂二丁目24番1号	高さ	155.7m
用途	リテール、ホテル、レジデンス、ミュージアム等	デザインアーキテクト	Snøhetta
敷地面積	約13,675㎡ (※Bunkamura含む)	エグゼクティブアーキテクト	株式会社日建設計
延床面積	約119,000㎡ (※Bunkamura含む)	建築施工者	大林・東急・西武建設共同企業体
		竣工	2029年度 (予定)